

## 診療科目

- ・一般内科
- ・消化器内科
- ・呼吸器内科
- ・循環器内科
- ・腎臓内科
- ・内分泌内科
- ・緩和ケア内科
- ・糖尿病内科
- ・漢方内科
- ・血液内科
- ・外科
- ・整形外科
- ・泌尿器科
- ・放射線科
- ・リハビリテーション科
- ・婦人科
- ・歯科・歯科口腔外科

## 専門外来

- ・漢方外来
- ・ラベンダー（更年期）外来
- ・臨床遺伝外来

## 併設センター

- ・呼吸器センター
- ・臨床研究センター
- ・緩和ケアセンター
- ・肝臓病センター
- ・内視鏡センター
- ・人工腎臓センター
- ・予防医療センター
- ・糖尿病・生活習慣病センター
- ・化学療法・治療センター
- ・在宅医療福祉センター

## グループ施設

- ・老人保健施設 さくら館
- ・特別養護老人ホーム 養生の杜カムイ
- ・デイサービスセンター ほたる
- ・グループホーム K館
- ・グループホーム アテナ
- ・特別養護老人ホーム 仁慈苑
- ・デイサービスセンター 透空

## 病院の理念

医療の主人公は患者、生活者の皆様です

## 基本方針

わたくしたちは、

- ・みなさまにわかりやすい説明と必要な情報を提供し、同意に基づく医療を進めます
- ・みなさまの人格、プライバシーを尊重します
- ・みなさまにまごころをこめて、親切に接します
- ・みなさまに必要な医療を、地域と連携して提供します
- ・みなさまにより良い医療を提供できるよう、自らを磨きます
- ・みなさまの健康増進のために、全力を尽くします



医療法人社団 慶友会  
**吉田病院**



### ■診療受付時間

【平日】 午前 8:00～12:00 13:00～17:00

【土曜日】 土曜 8:00～12:30

【休診日】 日曜日、祝日、年末年始

〒070-0054 旭川市4条西4丁目1-2

**0166-25-1115**

<https://www.keiyukai-group.com/yoshi-hp/>



# すこやか

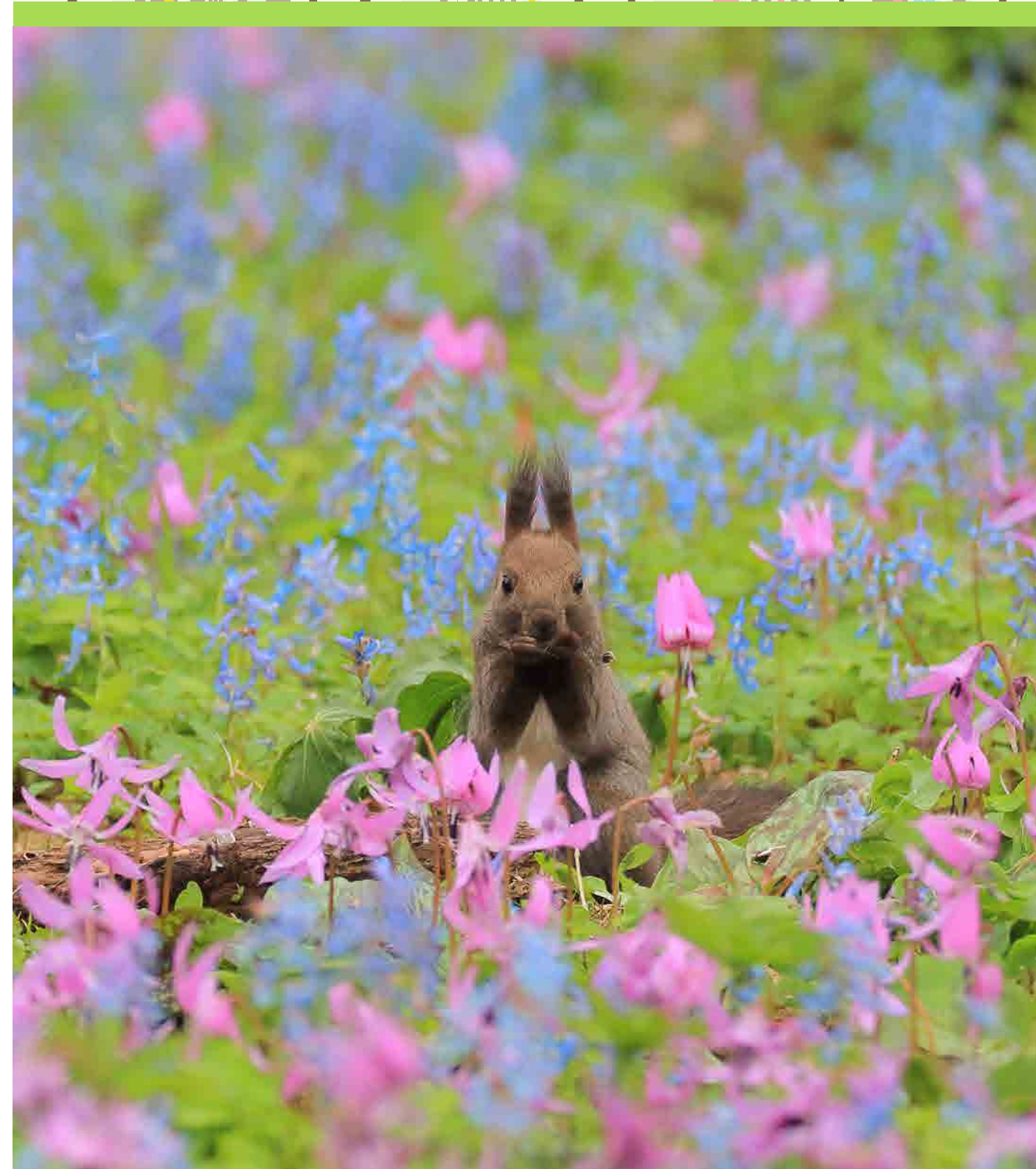


2026.5 vol.89

春号

free paper

ご自由にお持ちください



医療法人社団 慶友会 吉田病院  
YOSHIDA HOSPITAL

# 見えない病気を映し出す

## — 呼吸器診療と画像の力 —

大崎 能伸 医師

最高顧問 兼  
呼吸器センター センター長



### 呼吸器診療の特徴

呼吸器科を受診する患者さんの訴えは、咳、喀痰、息切れ、発熱がほとんどで、疾患に特徴的な症状はあまりありません。血液検査でも、炎症の有無や程度を推測できるほかには、診断に直結するような結果が得られることは稀です。そのため、呼吸器診療には難しさもありますが、それを支える強力な手段が胸部画像診断です。

1895年にヴィルヘルム・レントゲンがその妻のアンナ・ベルタの左手を撮影した写真が世界初のX線写真です(図1)。この功績によってレントゲンは第1回ノーベル物理学賞を受賞しました。



図1. 世界初のX線写真

### 画像診断の進歩

それから130年たった現在では、呼吸器診療に胸部画像診断は欠かせないものになりました。呼吸器科では胸部X線写真と胸部CT像を用いた画像診断を行います。胸部X線写真は、心陰影の投影がなるべく小さくなるように、背側から腹側に照射するP-A像と右から左に照射するR-L像をルーチンに撮影します。撮影装置の進歩によって、胸部X線写真での被曝線量は極少で、自然界からの被曝と大きく変わらないとされています。図2は若年女性の好酸球性多発血管炎性肉芽腫症(EGPA)の胸部X線写真を示します。



図2. 若年女性EGPAの胸部X線像

肺の精密画像診断には胸部CTを用います。コンピュータ断層撮影(CT)の開発では、1979年にゴットフリー・ハウンスフィールドとアラン・コーマックがノーベル医学生理学賞を受賞しています。CTは、X線発生源と検出器を対角に置いたドーナツ型の装置を回転させながら撮影し、データを三次元的に画像化する技術です。現在では高い分解能を持ち、生体の詳細な観察が可能となっています。

### 当院の取り組みと最新技術



慶友会吉田病院にはキヤノン製80列マルチスライスCT「Aquilion Prime SP / i Edition」が導入されています。高密度な三次元情報により、任意の断面画像を描出でき、小さな病変の検出が可能です。現在では高分解能CT(HRCT)が普及し、本院でも0.5mmの高精細画像により、1cm以下の病変も正確に診断できます。図3は新型コロナウイルス肺炎のHRCT画像を示します。なお、CT検査は有用性が高い一方で被曝も伴うため、適応を慎重に判断しています。

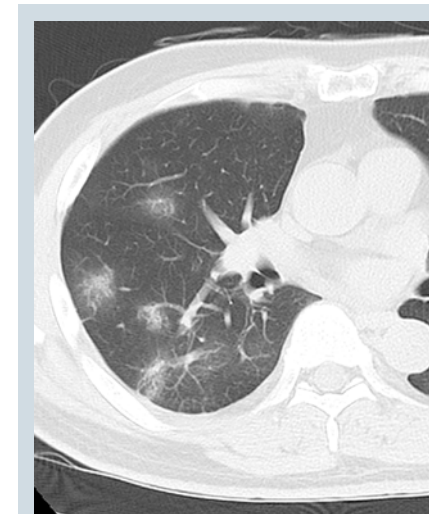


図3. COVID-19肺炎のHRCT像

### DOCTOR PROFILE



医療法人社団 慶友会 吉田病院  
最高顧問 兼  
呼吸器センターセンター長  
大崎 能伸 医師

旭川医科大学 医学部・卒  
旭川医科大学呼吸器センター名誉教授  
日本呼吸器内視鏡学会 専門医・指導医  
日本内科学会 認定内科医  
日本呼吸器学会 専門医・指導医  
日本結核・非結核性抗酸菌症学会 指導医  
インфекションコントロールドクター

# 「食べる」を支え、 「その人らしさ」を守る看護

摂食嚥下障害看護認定看護師・

老人看護専門看護師

工藤 紘子さん



INTERVIEW  
はいゆうかいで  
はたらくひと

## 「最後まで、自分の口から食べられるように支えたい」

資格取得の道のりは決して平坦ではありませんでした。認定看護師は専門機関での半年間の研修と試験が必要です。専門看護師は大学院での修士論文を完成させて修士課程を修了した後、試験が必要です。仕事と両立しながら夜間に講義を受け、年末年始も研究と論文執筆に打ち込んだ日々は「人生の中でも

資格取得の道のりは決して平坦ではありませんでした。

この分野に関心を持ったきっかけは、新人時代にさかのぼります。脳神経外科で勤務していた頃、先輩看護師が口腔ケアを行いながら患者さんの嚥下機能を評価し、「水が飲めます」と医師に伝えて、姿をのり目にする様子を見てきました。医師ではなく、看護師が専門的な評価を行う姿に強い感銘を受け、「自分もこの分野を深く学びたい」と思うようになったといいます。

そう語るのは、本年3月より当院に入職された活動を開始した工藤看護師です。工藤看護師は、「嚥下（えんげ）」と呼ばれる飲み込みの機能を支える摂食嚥下障害看護認定看護師と、高齢者医療の専門家である老人看護専門看護師という、二つの高度な資格を持っています。

摂食嚥下障害とは、食べ物や飲み物を認識してうまく飲み込むことが難しくなることをいい、高齢者や認知症の方に多く見られ、誤嚥性肺炎の要因となることが多いです。工藤看護師は、患者さん一人ひとりの状態を丁寧に観察し、「どうすれば安全に、そして美味しく食べられるか」を考え、スタッフへの指導や相談対応に取り組んでいます。

工藤看護師はこれからも、患者さん一人ひとりの可能性を信じ、「できること」を見つけて続ける看護を沢山の医療スタッフの協力を得ながら実践していきたいと話されています。

「むせることは体を守る大切な反応です。少しでも気になることがあれば、早めに相談してください」

看護師を志した原点は、小学生の頃に入院していた祖父の姿でした。家族でも分からない祖父の意思、思いを汲み取り、寄り添う看護師の姿に心を動かされた経験が、現在の道へとつながっています。

また、老人看護専門看護師としての重要な役割が「意思決定支援」です。「食べたい」という思いと誤嚥のリスクの間で悩む場面において、患者さんやご家族、医療スタッフをつなぎ、その人にとって最善の選択を共に考えます。それは単なる医療判断ではなく、「その人らしい生き方」を支える看護です。

大変な時期でした・・・と振り返ります。やりがいを感じるのは、患者さんの変化に立ち会えることです。長く口から食べられなかった方が、ひと口の水を飲み「おいしい」と満面の笑顔を見せる——その瞬間が、大きなやりがいだといいます。



# 食べることが、治療を支える

— がんと栄養の基本 —

監修：吉田病院 D-NST委員会  
文責：吉田病院 管理栄養士 園田 菜奈美

## がんと生活習慣

がんとは、遺伝子の変異によって細胞が無秩序に増え、腫瘍となる病気です。完全に防ぐことはできませんが、生活習慣により「なりにくくする」ことができます。また、定期的な健康診断による早期発見と標準治療が重要です。

### 生活習慣のポイント

- 喫煙・過度の飲酒を控える
- バランスのよい食事
- 適度な運動
- 適正体重の維持

## がんと食事

がん細胞は自身の成長・増殖のために宿主の筋肉や脂肪を崩壊、消耗させてエネルギーを得ようとします。また、がん治療で食欲不振や倦怠感による運動量低下・筋力低下もあるため意図せず痩せてしまうことがあります。食事は身体機能を維持・増進させ治療に耐える体作りを支えます。無理なく楽しみながら食事をしましょう。

### 症状別の工夫

- ①体重減少 → 高カロリーを少量ずつ
- ②食欲低下 → 食べたい時に好きなもの
- ③吐き気 → 消化のよいものを少量
- ④味・におい変化 → 口の中の保湿+味付け調整
- ⑤嚥下困難 → やわらかく・とろみで

## おいしさは“温度”で変わる

アツアツの味噌汁より、冷えた味噌汁のほうがしょっぱく感じたことはありませんか？ 食事には、おいしく感じやすい温度があります。

がん治療中は味覚が変化することがあります。個人差はありますが、感じやすい温度に調整することも工夫の一つです。

### 温度による味・匂いの感じ方の違い

	低温(冷たい)	体温	高温(熱い)	
塩味	◎	○	△	◎ 強く感じる ○ 感じやすい 変化少ない △ 感じにくい
甘味	△	◎	△	
酸味	○	○	○	
苦味	◎	○	△	
旨み	△	◎	△	
匂い(嗅覚障害)	△	○	◎	

引用：JSPENがん患者診療のための栄養治療ガイドライン/JSPENテキストブック/臨床栄養栄養指導オールガイド 2024.5月号/臨床栄養 2019.9月号/東京都がんポータルサイト/国立がん研究センターがん情報サービス

# ティーラウンジショパンが Web ニュースに掲載されました！

このたび、グルメ情報を発信されているWEBライターの都良（TORA）さんに当院ショパンのメニューをご紹介いただきました！



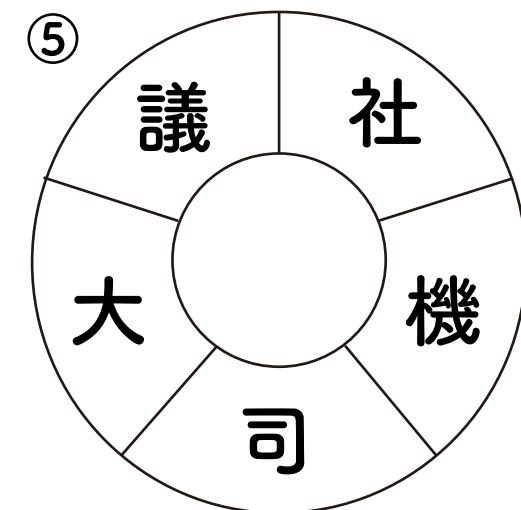
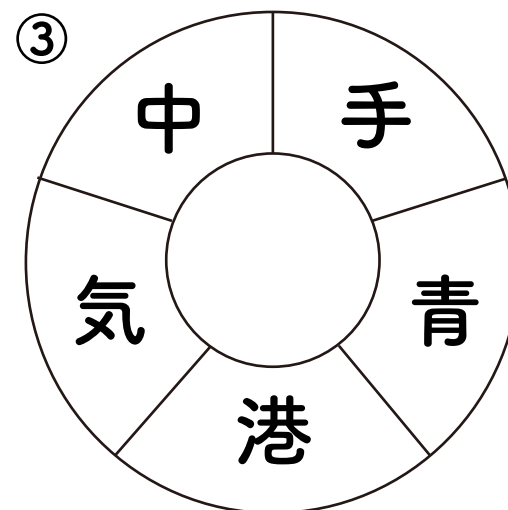
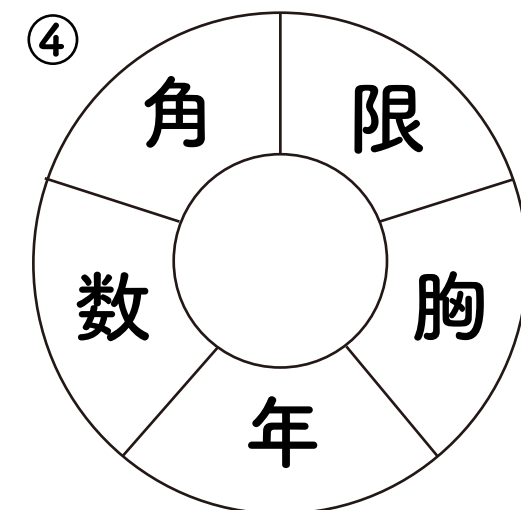
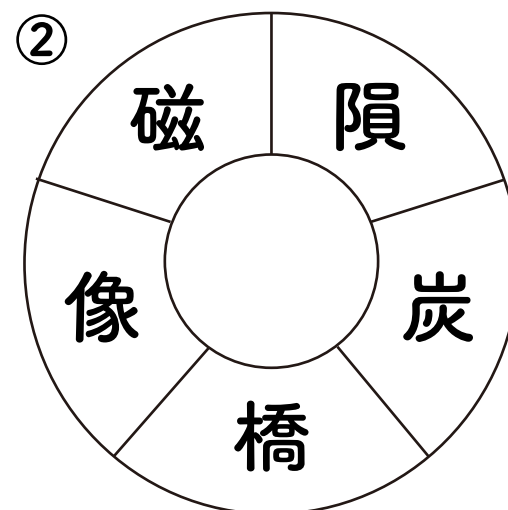
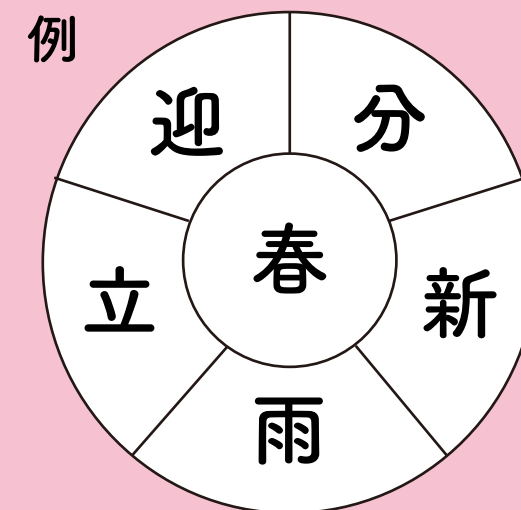
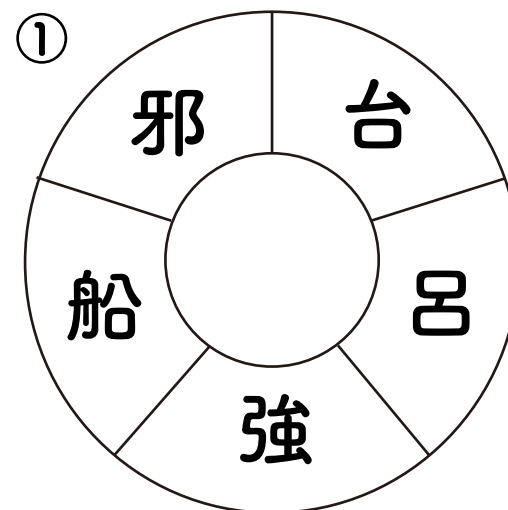
『濃厚な旨さの牛ほほ肉の煮込み！  
病院内にあるレストランで数量限定のクリスマスメニュー』



## チャレンジ！ 脳トレーニング

周りにある5つの漢字と組み合わせて熟語となる共通の漢字1字をあてはめましょう。熟語によっては中から外へ、外から中へ読むものがあります。

### 問題



### シェフからのコメント

喫茶ショパンでは、一品一品丁寧にお作りしております。  
これからもお客様にお越しいただけるよう、  
職員一同お待ちしております。



電話番号：0166-25-1115

営業時間：平日 10:00～14:00 定休日：土・日・祝・不特定休

喫茶ショパンのInstagramでは、週替わりメニューやおすすめのメニューを紹介しています！  
QRコードからぜひご覧ください。

CHECK!

